

ブラジル 教会が取り組む青少年育成プログラムへの支援

「ラテンアメリカ・キリスト教ネット」

①ブラジルは南半球にある大きな国です。アマゾンの熱帯雨林があることや、サッカーが強い国として知られているかもしれません。先住民族やアフリカ人のほか、多くの国から移住してきた人たちが混ざり合って住んでいます。農業や工業の発達した力強い国ですが、金持ちと貧しい人の生活の差がとても大きく、じゅうぶん食べられない人たちが多くいることは、あまり知られていないかも知れません。

②そのような貧しい人たちの教会で行われている2つの教育活動について紹介します。2つ教会が建てられている地区は大変貧しい住宅地の中にあり、麻薬売買や犯罪グループに巻き込まれる危険にさらされています。住人の大多数は日やといで、工事現場で働いたり、小さな商売をしています。仕事に就けない人も多くいます。父親が家庭での責任を果たしている所帯は約半数で、多くの母親は一人で子育てをしています。低賃金でも仕事があれば幸運で、よその家の家事をしたり、自家製の食品を路上で売ったり、政府が提供している家族手当などの援助によって何とか生活しています。

③家には十分な広さがないので、子どもたちが大きくなると居場所がなくなり、路上に出て行かざるを得ません。そこでは悪い道に誘われる危険がたくさんあります。アルト・ダ・ボンダージ・メソジスト教会の「総合教育プロジェクト」はそうした子どもたちの居場所でもあります。

④アルト・ダ・ボンダージ地区には公立の小学校が3つ、中学校が1つあり、約5千人が学んでいます。また、保健診療所が2つあります。電気は来ていますが、水道が給水されるのは3日おきで、タンクにためた水を大事に使っています。アスファルトでない道は、雨季になるとぬかるみ歩くのが大変です。アルト・ダ・ボンダージ・メソジスト教会の働きは、1986年にアメリカ人宣教師のダヴィ・ブラックバーン牧師によって始められました。みんなの共同作業で建てあげた会堂は、丸い形で、壁のブロックには十字架と魚の形の穴があり、一年中、教会堂に風が通りぬけていきます。

⑤この地域には、子どもや若者が安全に参加できる教育活動が何もありませんでした。2009年に小井沼眞樹子宣教師が来られて、日本の教会の支援でギターやドラムの教室が始まり、空手教室、子どもの創作教室なども開始されました。プロジェクトの目的は、a.子どもたちを麻薬や犯罪の危険から守る、b.神様の愛を伝える、c.自分や友だちを大切にする、d.職業を見つけて幸せな人生を送ることです。現在の生徒数は空手教室35名、ギター教室11名が参加しています。

⑥《生徒たちの声》「音楽が好きです。新しい曲を習うのは楽しいよ。習うだけじゃなくて、教室に通うのが楽しいです。前は、いっしょに過ごすのは家族だけだったけど、今は新しい友だちと一緒に、それがすごくうれしいです。」タレス・ヘナン、9歳。

「息子はギターと空手の両方の教室に通っています。それによって息子は体も心も以前より健康になりました。2人の先生たちはとても素晴らしい方々です。」マルシア・バンデira、ニコラス・ウンベルト 11 歳の母

《奉仕者の声》「私たちは生徒たちの家庭訪問をして生活の様子を知り、活動の内容を評価し、保護者会も実施しています。また、ボランティアが作ったバッグなどを売ったお金で基本食品を購入し、必要な家庭に配っています。」

⑦ストーリー・テリング教室は 2025 年 1 月から始まりました。現在約 18 名の子どもと 10 代の若者が参加しています。

⑧サルバドールはポルトガルによる植民地時代のブラジルの首都で、奴隷売買の拠点でした。この地区にはアフリカ系の肌の色の濃い人たちが多く住んでいて、貧しさや差別が他の地域より大きく、麻薬や犯罪組織の危険にさらされています。

⑨このプロジェクトの目的は、子どもや若者が物語をどのように読み取るのかを学ぶことによって、自分と友だちについてより正しく理解し、友好的な関係を身につけることにあります。

⑩また、生徒たちが神さまの存在を知り、神に愛されている自分のいのちを大切にして自立した人間へと成長すること。そして職業を持ち、幸せな人生を送ることができるようになることを願っています。そのため、聖書の教えを実際の生活と結びつけて学び、社会のなかに存在する不平等や差別について話し合い、よりよく生きるためにどうしたらよいかを話し合います。

⑪物語を聞いた後、子どもや若者たちはいろいろな活動を行います。学んだことをグループで話し合い、イラストや絵で表現をします。また、ジェスチャーや動作で表現することもあります。

⑫《生徒たちの声》「ストーリーテリングの活動に参加したんだ、すごく楽しかったし、最高だったよ。新しい友達もできたし、本も読んだし、遊んだし、本当に最高だった！」ダニエル(10 歳)

「ストーリーテリングのプロジェクトには、すごく素敵な先生たちがいます。たくさんのことを学び、アクティビティもあり、みんなたくさん遊びました。おもちゃもたくさんあって、すごく楽しかったです」ステファニー (12 歳)

「ここにいるのがすごく好き。ここは教会であり家でもある。ここでは、年齢や性的違いに関わらず、誰もが尊重されている。ここはとても居心地がいいです。」ジェニファー(15 歳)